

平成15年度 和歌山県学力向上フロンティアスクール事業中間報告書

都道府県名	和歌山県
-------	------

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	白浜町立白浜第一小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	1	2	2	1	2	1	11	16
児童数	47	37	47	42	34	45	2	254	

研究の概要

1. 研究主題

一人ひとりがめあてをもち、力を合わせて意欲的に取り組む学習集団づくり
 ~基礎・基本的な学力の確実な定着を図るために~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

- ・1年、2年・・・国語
 全て学習の基礎となる国語力を低学年時に高めることが重要と考えるから
- ・3年、4年、5年、6年・・・算数
 今までの研究経過を踏まえて、さらに研究に取り組むため

(2) 年次ごとの計画

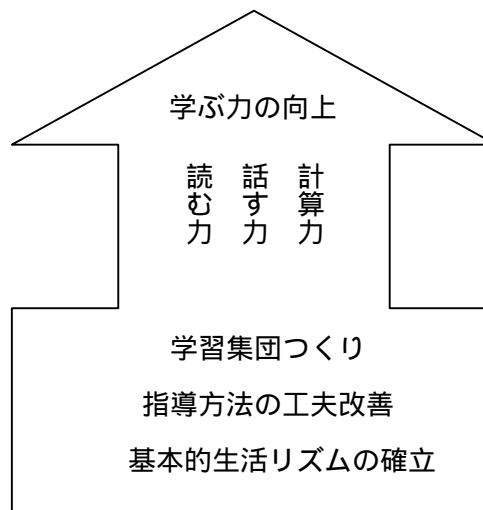
平成15年度	<p style="text-align: center;">テーマ</p> <p>一人ひとりがめあてをもち、力を合わせて意欲的に取り組む学習集団づくり ~基礎・基本的な学力の確実な定着のために~</p> <p>・主題設定の理由</p> <p>本校では平成7年度より、算数科を中心に授業研究やT・Tの導入等、授業改善、授業力の向上に取り組んできた。しかし、さらに授業を活性化させ、全ての子どもに確かな学力を身につけさせるためには、これまでの指導者側からの授業改善の視点だけではなく、学習する側の相互の信頼関係を高める視点を大切にし、生き生きと安心して授業に取り組めるような豊かな人間関係の醸成を図ることが大切ではないか、という考えに到った。</p> <p>そこで、全ての授業の中に、より豊かな人間関係の醸成をめざした「学</p>
--------	---

習の場における人間関係づくり」に取り組むこととした。その中では、児童の学校生活の大部分をしめる日々の授業の中に、人間関係形成の上で特に大切な「話し合う活動」や「教え合う活動」「認め合う活動」、「鍛え合う活動」、「競い合う活動」など、いわゆる「人と関わり合う活動」を重要な要素と位置づけ、相互の信頼関係を高めつつ、学習内容の確実な定着をめざす取り組みとして、研究主題を「一人ひとりがめあてをもち、力を合わせて意欲的に取り組む学習集団づくり」と設定した。

研究の見通し

学力向上プランについては、上記「学習集団づくり」や指導方法の工夫改善と併せて、家庭と連携しての基本的な生活リズムの確立、等を土台として、そして、その上に教科学習における「読む、話す、計算」など、いわゆる、どの授業においてもその学習を支える働きをする最も基本的なスキルをしっかりと身につけることで、どの児童も学ぶ意欲や学ぶ習慣が高まると想定し、そうした取り組みを効果的に進めたいと考えている。

学力向上の道筋(仮説)



研究の内容・方法

ア、主題に迫るための4視点

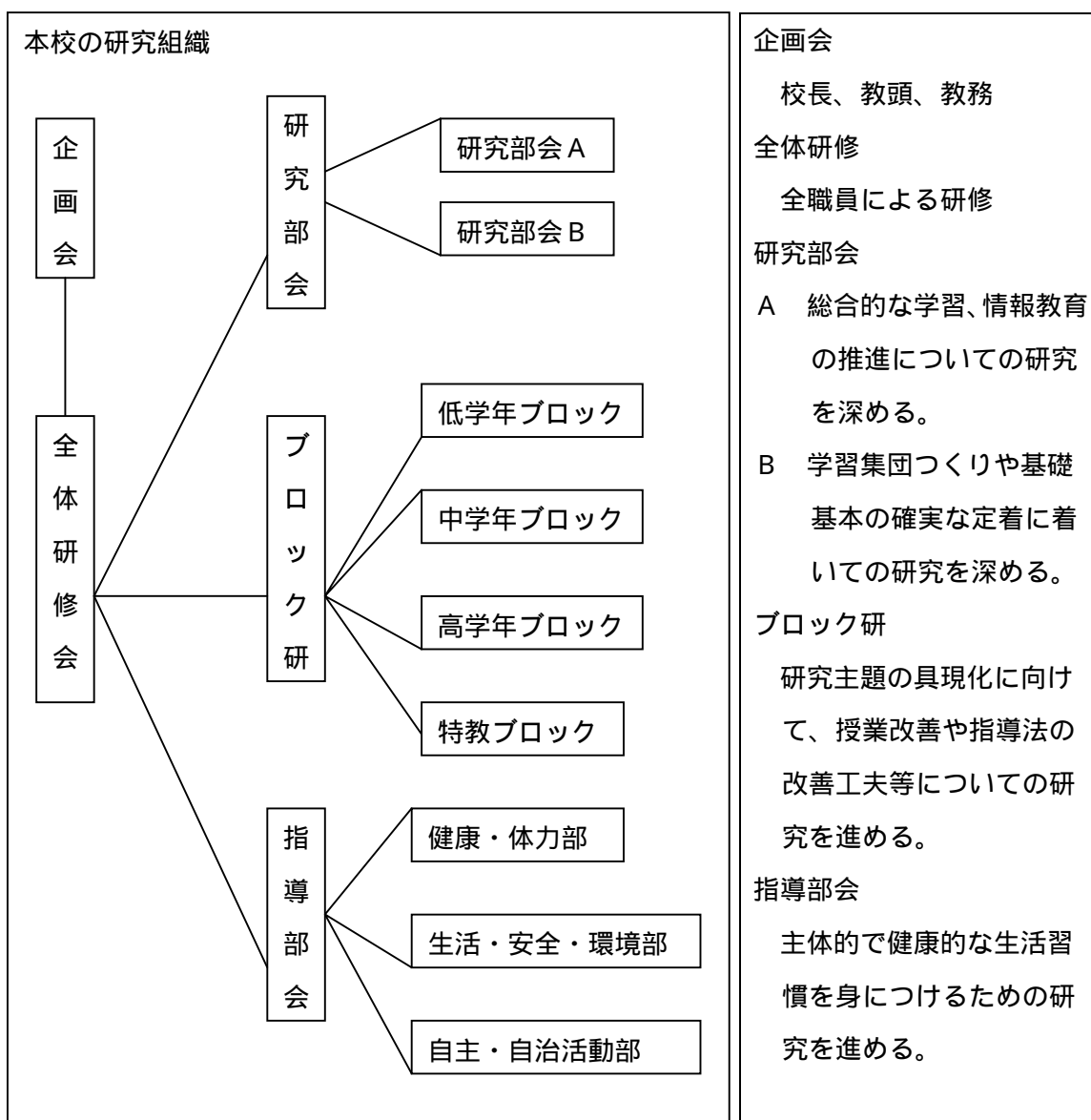
基礎・基本的な学力の確実な定着を図る。

- ・「読む」「書く」「話す」「聞く」「計算」などについての評価基準を作成し、最も基本的な学力の確実な定着を図る。

<p>平成15年度</p>	<p>具体的で分かりやすい学習課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導や習熟度別指導、教科担任制など、指導法の工夫改善に取り組み、同質集団や異質集団での学習の充実を図る。 <p>一人ひとりが意見をもち、練り合いを通して高めあえる活動を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活体験、自然体験、社会体験活動等、直接体験活動を充実させ、その取り組みを通して自己表現能力や創造性、協調性、社会性等を身につける。 <p>学習意欲につながるような学習環境づくりに努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の自主性、主体性、創造性を追求し、子ども自身の力を大切にしたい学習環境づくりを推進する。 <p>イ、学力調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学力を把握し、以降の取り組みに生かすため、学力テスト（2年生以上）を実施する。 <p>ウ、授業改善の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の児童の実態や本校の課題を踏まえ、分かる授業を創造するため、全学級が授業改善の取り組みを公開し、よりよい授業づくりに取り組む。
<p>平成16年度</p>	<p>テーマ、研究の見通し、研究の内容・方法については、平成15年度を土台として踏襲しつつ、さらに充実をめざし取り組みを進める。</p> <p>見直し点</p> <p>ア 主題に迫る4視点の見直し</p> <p>基礎・基本的な学力の確実な定着。</p> <p>目標をもって取り組める適切な学習課題の設定。</p> <p>自分の意見をもち、練り合いを通して高めあえる活動の工夫。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合う、教え合う、認め合う、鍛え合う、競い合うなど、仲間と共に学ぶ合う学習活動の工夫。 ・直接体験活動を充実させ、その活動を通して、自己表現力、協調性、社会性等を身につける。 <p>児童の意欲や向上心を高める学習環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主性、主体性、創造性の追求 ・健康的な生活リズムの確立

	<p>イ 授業展開の基本パターン</p> <p>「つかむ」学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読む」「計算力」を高めるトレーニング ・目標の明確化 <p>「ひろげる」学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合う、教え合う、認め合う、鍛え合う、競い合う等、仲間と共に学び合う活動の工夫。 <p>「ふかめる」学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習問題や発展問題での力試しや自分の考えをまとめるなど、「一人学習」の工夫
--	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

研究成果

- ・ 授業の開始時5分間程度、計算や音読を継続して取り入れることにより、学習に対する意識が高まり、その後の学習も集中して取り組めるようになってきている。
- ・ 音読では、どの児童も練習回数が増え読みも確かになってきている。また、読みに対する相互評価を取り入れることにより、友達のよさを認め、お互いを高めるといった活動につながってきている。
- ・ 計算については、タイムや点数の向上が励みになってきている。家庭へ知らせることによりさらに意欲が増すことにもつながってきている。授業についてくることが難しく、なかなか集中して取り組めなかった児童も百マス計算などでは集中でき、その集中がその後の授業でも生きてきている。
- ・ 「話す」、「聞く」については、評価規準を児童にも分かるように教室掲示し、自己点検することによって意識化が図られ、進んで発表する、大事なことを聞き漏らさない、友達の意見と比べながら聞くといった活動へとつながりつつある。点検表を家庭へ返すことにより、協力が得られ意識の持続にもつながった。
- ・ 少人数指導・TT指導することにより、一人一人の児童への教師の支援がしやすくなり、より個に応じた指導ができるようになった。児童の反応も、少人数だとよく分かり手が多く挙げられるようになった、どこで間違えていたかよく分かった、など効果があったというのが多かった。
- ・ 教科担任制の導入によって、専門性を指導に生かすことができた。また、学年全体の児童の学習の様子が把握できた。さらに、少しながらも児童がイメージとして持っている中学校の授業形態への不安が取り除けたのではないかと。

今後の課題

- ・ 少人数やTTの指導は、一部の学年での実施であったが本年度の児童の反応や学習の成果から考えて、今後他の学年でも重点教材を中心に取り組んでいきたい。
- ・ 補足的な学習及び発展的な学習の指導法の研究や、教材の工夫・改善に取り組んでいく。
- ・ 習熟度別について、今年度の結果を生かした年間指導計画の作成をしていきたい。
- ・ 目標を持って、取り組める学習課題の研究に取り組んでいきたい。
- ・ 生活と学力の関係をさらに明らかにし、改善に努める。家庭と協力し、学ぶ習

慣を身に付けさせていきたい。

- ・ 学び合う力が身に付くような授業改善をさらに追求していく。

学力等把握のための学校としての取組

- ・ 全校一斉「算数・国語」学力検査の実施（年一回5月実施）
- ・ 生活調査（学期に1回）や生活点検の実施

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ 西牟婁地区学力向上推進協議会にて実施中間報告 平成15年10月20日
- ・ 白浜町内教頭会及び校長会にて実施報告 平成15年9月16日 教頭会
平成16年2月3日 校長会
- ・ 西牟婁地方学力向上フロンティアスクール研修会にて実施報告
平成16年2月2日

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 ・ 14年度からの継続校
- 【学校規模】
・ 6学級以下 7～12学級
・ 13～18学級 ・ 19～24学級
・ 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 ・ その他
- 【研究教科】 国語 ・ 社会 算数 ・ 理科
・ 生活 ・ 音楽 ・ 図画工作 ・ 家庭
・ 体育 ・ その他
- 【指導法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 ・ 無